

ワクチン 危険性訴え

淀川医師がトークイベント

新型コロナウイルス 長尾さんが語った。

のワクチン接種に疑問を抱く長尾クリニック（兵庫県尼崎市）院長、長尾和宏さん（63）のトークイベントが6日、大阪市淀川区のシアターセブンであり、質疑応答を交え40人が聴き入った。

最初に、同市で昨年未開かれたシンポジウムをまとめた「記録映像 ワクチン後遺症」（1時間52分）を上映。ワクチン接種後に体調が悪化し、日常生活が送れなくなっている事例を具体的に説明しながら、同クリニックで治療を模索する日々を

その上で「国は、打て打てドンドンとワクチン接種を勧めるが、後遺症の存在を認めない」と、一時的な副反応にとどまらない危険性を現場感覚から訴えた。

【林田英明】

